

IM (Intercity Meeting)

アイエム、インターシティーミーティングとは、グループ、分区単位で、ガバナー補佐が主催して開かれることが多いようです。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならない問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

福島クラブがホストを務めたIMでは、平成18年(大沼健次会長年度)に開催された「学遊会」が記憶に新しいところです。その折の運営方法は、参加者全員がテーブルに分かれて、21のサブテーマの中から選択して自由討論を行うという、当時としてはユニークなもので、大方の好評を得ました。この形式はその後、分区のIMにおいて踏襲されるようになりました。

従来のIMは、会員参加の提案、討議でしたが、全員発言には少々無理がありました。また、ロータリーというのはトップダウンが多くて、下の意見が反映しない会との不満も側聞されることから、ワークショップ形式で、参加者全員に思う存分発言して頂く趣旨での開催となり、大沼会長、白岩実行委員長のもと、実行委員会で検討が重ねられました。

3つの大きなメインテーマの中に、21のサブテーマを設定し、この21のサブテーマごとにテーブルに分かれ、各テーブルではコーディネーターの進行のもとに、約1時間にわたり自由討論を行って頂きました。以下は2005-2006「学遊会」のメインテーマ及びサブテーマです。

メインテーマ (A) 会員のためになるロータリー

- サブテーマ
- 1、会員にとって魅力あるロータリーとは
 - 2、クラブの運営について
 - 3、例会の在り方について
 - 4、経済的負担について
 - 5、新会員の研修会について
 - 6、地区・区の行事について
 - 7、地区・区の研修会について

メインテーマ (B) 地域社会になくてはならないロータリー

- サブテーマ
- 1、地域社会とロータリーの関わり方について
 - 2、ロータリーの広報活動について
 - 3、米山奨学生制度について
 - 4、ライラについて
 - 5、インターアクト・ローターアクトについて
 - 6、地域社会への貢献とは
 - 7、地域の他団体との関係について

メインテーマ (C) ロータリーの改善

- サブテーマ
- 1、ロータリーの改善すべき点とは
 - 2、ロータリーの活性化とは
 - 3、ロータリーの将来について
 - 4、若者に魅力あるロータリーとは
 - 5、会員の増強・退会防止について
 - 6、国際ロータリーとの関わりについて
 - 7、ロータリーへの参加について

(文責 丹治正博)